

J A ・ 連合会を構成メンバー、岩手県および岩手県農業公社をオブザーバーとする、労働力確保対策研究会において労働力の安定的な確保・育成に向けた体制の構築等について検討するほか、県が設置した岩手県農業労働力確保対策推進会議と連携のもと、J A 職業紹介所（県域農業求人サイト）を通じたマッチング支援や農福連携、集落営農組織のネットワーク化など、様々な手段を用いて労働力確保の取り組みや労働環境の整備等に取り組む。

事業実施主体構成員

J A 新しいわて、J A いわて中央、J A いわて花巻、J A 岩手ふるさと、J A 江刺、J A おおふなと、J A いわて平泉、J A 岩手県信連、J A 全農いわて、J A 共済連岩手、J A 岩手県厚生連

実績値（目標値）

- ①延べ雇用経営体数 53経営体（初年度110経営体、2年度目110経営体）
- ②被雇用者満足度 未実施（80%）

令和 2 年度取組み内容

ア 労働力の需給状況の把握

求人者・求職者の雇用に関する意向を把握するため、12月から求人者・求職者それぞれにアンケート調査を実施しているところであり、今後、結果を取りまとめることとしている。

イ 労働力の確保・育成

県下全 7 J A において職業紹介所を設置し、県域求人サイトを介してマッチングを行っているほか、若者サポートステーションとの連携により、2 J A で作業体験会を実施し、5 名の雇用につながった。
また、准組合員の農業参加に向け、信用渉外、共済 L A 等の声掛けによる求人紹介を行った。

ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化

県下全 7 J A において職業紹介所を設置し、県域求人サイトを介してマッチングを行っており、応募・マッチング実績等について分析し、データベース化する。

エ 農業の「働き方改革」への取組み

県域求人サイトを利用した雇用主・被雇用者に、雇用や農業に従事した感想等についてヒアリングを行った。
農業者向けの労務管理等に関するセミナーは開催を見送った。

オ 他産地・他産業との連携による労働力確保

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける商工業者の雇用維持のための農業従事について、県や商工会連合会等との連携を模索したが、具体的な取り組み実施には至らなかった。

課題と令和3年度の実施内容

ア 労働力の需給状況の把握	
【課題】 求人者・求職者へのアンケート調査の実施中であり、今後、結果をとりまとめ、課題と対応を検討する。	【次年度の取組み】 県域求人サイトの運用を通じて求人・求職の状況を把握するとともに、アンケート調査で把握した課題への対応について検討する。
イ 労働力の確保・育成	
【課題】 県域求人サイトの活用実績は向上しているものの、求人需要を満たせておらず、認知度向上が課題。 また、継続的・安定的な労働力確保のため、周年の生産・雇用体制の構築も必要。	【次年度の取組み】 引き続き、県域求人サイトの認知度向上に取り組むほか、若者サポートステーションとの連携に取り組むJAの拡充、准組合員の農業参加に取り組む。
ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化	
【課題】 県域求人サイトの12月末の実績は、求人数223件に対して、応募数98件、マッチング実績は53件となっており、前年度と比較して実績は向上しているものの、求人の需要を満たせていない状況。	【次年度の取組み】 県域求人サイトの運用と中心にマッチングに率向上に取り組む。 また、求人・求職実績を分析・とりまとめ、データベース化する。
エ 農業の「働き方改革」への取組み	
【課題】 雇用・労働環境の課題把握が十分に実施できていないため、次年度、更に取り組む必要がある。 農業者向けの労務管理等に関するセミナーの開催に向け、コロナ禍の開催方法の検討。	【次年度の取組み】 雇用条件・労働環境等の課題を把握し、労働力確保対策研究会において解決策の検討、実践に取り組む。 農業者向けの労務管理等に関するセミナーの開催。
オ 他産地・他産業との連携による労働力確保	
【課題】 他産地との連携にあたっては、交通手段・宿泊施設の確保が課題。 他産業との連携にあたっては、繁忙期が異なる業態や連携可能な企業の選定が必要。	【次年度の取組み】 2月に設置した「東北ブロック労働力支援協議会」において、他産地・他産業との連携について情報共有・検討をすすめる。